



さくら小学校

みんな仲よく あいさつあふれる 笑顔のさくら

学校概要

校長 田中 亮太
所在地 豊島区長崎6-16-1
電話番号 03(3956)8164
FAX番号 03(3959)9640
メールアドレス Sakura-e@city.toshima.ed.jp
教員数 19名



教育目標

- 思いやりのある子
- ◎考える子
- やりとげる子
- 元気な子

指導の重点

- 「対話を大切にしたい」学習を通しての学力向上
- 生活・学習規律の徹底
(さくらしぐさ、さくらのルール)
- いじめの未然防止と望ましい人間関係の確立
- 地域の人材を活用した学習活動

特色ある教育活動

個に応じた指導の充実

1年生からの習熟度別算数少人数指導により、個に応じた指導を充実させます。

コミュニティスクール

学校と保護者・地域住民が一体となって教育活動の改善や児童の健全育成に取り組みます。地域と一緒に合同防災訓練を行います。

かかわりを重視した異学年交流活動

6年生をリーダーとする、1年生から6年生までの全校児童を縦割りにした「なかよし班」をつくり、遊びを通して友情を育みます。

生活指導

「さくらしぐさ」や「さくらのルール」を活用した基本的な生活習慣の定着やルールの徹底を図り、児童の人権意識を育みます。



教育方針

- 人権教育と豊かな心を育む教育の推進
- 安全・安心な学校づくりの推進
- 子供が意欲的に活動し主体的に学ぶ教育の推進
- 保護者や地域に開かれ、信頼される学校

児童数・学級数(学年別) 4月現在

学 年	1	2	3	4	5	6	合計
学級数	2	2	2	2	2	3	13
児童数	69	61	67	70	64	73	404

総合的な学習時間の取組

- 3年「いつも元気プロジェクト」
「地域安全プロジェクト」
「大好きこの町 昔今未来」など
- 4年「環境問題を考えよう」
「防災プロジェクト」など
- 5年「大切にしよう!みんなの地球」
「お米について考えよう」など
- 6年「もっと知ろう 日本の文化」
「未来に向かって」など

生活時程

8:50~9:35	1 校 時	12:20~13:00	給 食
9:40~10:25	2 校 時	13:05~13:20	昼 休 み
10:25~10:40	中 休 み	13:20~13:35	清 掃
10:45~11:30	3 校 時	13:40~14:25	5 校 時
11:35~12:20	4 校 時	14:30~15:15	6 校 時

1年間の行事予定

〈1学期〉

- 4月 ●始業式 ●入学式 ●交通安全教室(1年) ●1年生を迎える会 ●地域訪問 ●遠足(1~3年) ●保護者会
●全国学力調査(6年) ●区学力調査(3~6年) ●引き取り訓練 ●定期健康診断
- 5月 ●地域清掃ごみゼロデー ●セーフティ教室 ●消防写真会(2・3年) ●自転車安全教室(3年) ●日光移動教室(6年)
●サンシャイン展望台見学(3年) ●ヤゴ救出作戦(4年) ●体力テスト
- 6月 ●合同防災訓練 ●水泳指導始 ●さくら小まつり ●こころの劇場(6年) ●開校記念日(23周年)
- 7月 ●小中連携教育 ●保護者会 ●着衣泳 ●終業式 ●夏季水泳指導 ●夏季学習教室 ●個人面談
- 8月 ●個人面談

〈2学期〉

- 9月 ●始業式 ●学校参観週間 ●プラネタリウム見学(4年) ●富士五湖移動教室(5年) ●道徳授業地区公開講座
●社会科見学(6年) ●歯みがき教室 ●給食試食会
- 10月 ●運動会 ●SDGsチャレンジデー ●音楽鑑賞教室(5年) ●歯科講話(5・6年)
- 11月 ●小中連携教育 ●短なわとび月間 ●読書月間 ●就学時健康診断 ●町探検(2年)
- 12月 ●学習発表会 ●社会科見学(5年) ●邦楽鑑賞教室(6年) ●ユニセフ募金 ●個人面談 ●終業式

〈3学期〉

- 1月 ●始業式 ●席書会 ●校内書き初め展 ●クラブ見学(3年)
- 2月 ●保育園との交流会(1年) ●小中連携教育 ●新1年保護者説明会 ●琵琶体験教室(6年)
●馬頭琴演奏会・秋田県能代第五小学校との交流会(2年) ●持久走週間 ●6年生を送る会
- 3月 ●琴体験教室(4・5年) ●保護者会 ●卒業を感謝する会(6年) ●修了式 ●離任式 ●卒業式



端末機器を活用した授業



外国語授業(ALT)



習熟度別少人数算数授業



保育園との交流会(1年)



小中連携教育(講演会)



合同防災訓練(三角巾体験)



馬頭琴演奏会・秋田県能代第五小学校との交流会(2年)



地域清掃 ごみゼロデー

保護者の声

- 防災体験ができ、いざというときに行動にうつせるので安心だと思いました。
- オクリンクの授業を見て、ICTが活用されていると実感しました。